



令和 8(2026)年度 公益財団法人櫻谷文庫 事業計画

基本的考え方

櫻谷文庫は、木島櫻谷の居宅である和館、洋館、画室の建造物および櫻谷作品、習作、写生帖等、櫻谷収集の書画書籍類などの収蔵品からなる。また、建造物3棟は、国登録有形文化財、京都市景観重要建造物、京都市指定有形文化財に登録、指定されている。収蔵品については、櫻谷作品、習作、写生帳や画材、手紙類など櫻谷の制作に関わる資料類、さらに櫻谷の収集した中世から近代にかけての陽明学朱子学関係日本画関係書画、詩文集、書籍、典籍や、近代美術関係資料など一万点以上からなる。建造物、所蔵品の一般公開・展示、収蔵物資料等の調査、整理、データベース化のため、建造物の維持修復、収蔵品等の維持、修復、調査、研究を進める。これらにより、近代建築史、美術・美術史、芸術の振興、学術研究への寄与、京都市を含む地域振興をめざす。また隣接する学校法人ヴィアートル学園等と連携し、教育活動の推進のため協力、支援をすすめる。

来年 2027 年には櫻谷生誕 150 年展が東京と京都で開催されるため、この準備に京都市美術館、泉屋博古館に協力する。

公益目的事業

1. ゴールデンウィークの櫻谷文庫公開展示

・「櫻谷の日常。端午の節句」公開・展示。

期間 2026年4月29日(祝)～5月6日(振替休日)の土日祝(6日間)

公開収入 216,000 円

(内訳) 入場料 600 円×60 人/日×6 日=216,000 円

公益支出 216,500 円

(内訳) 人件費 6 日×5 人×6,500 円=195,000 円

事務用品費 4,000 円

印刷費 25,000 円

通信費 3,000 円

旅費交通費 2,000 円

雑費 5,000 円



櫻谷の日常
端午の節句

日本画家 特別公開 京都市指定有形文化財 京都市指定景観重要建造物
このしまおうこく
木島櫻谷旧邸
2026 4/29 (水) - 5/6 (水) の間の土日祝

公開時間/10時～16時(受付終了) 見学者/大人600円 小学生300円 団体(1.5名様以上)1割引
障害者手帳をお持ちの方は無料 会場/櫻谷文庫(北野白梅町から徒歩5分)
後援/

京都市指定有形文化財
ライトアップ木島櫻谷
お近くのバス2駅上、京都市営地下鉄
4/29(水)～5/6(水) 休館日 月曜日
(5/4(水)は振替、5/7日(木)休館)
地下鉄南九条 六本木二丁目

公益財団法人 櫻谷文庫
〒603-8343 京都市北区等持院東町5-6
Tel/Fax 075-461-9395 携帯 080-5197-1117
交通 京福線南九条(北野白梅町)
京都市バス 204、205、101、102系統ほか
「北野白梅町」下車 西へ500m
Mail to: info@sakurayama.or.jp
https://x.com/sakurayama
https://www.facebook.com/sakurayama/

2. 収蔵品の貸出し

・泉屋博古館東京 30,000 円

「ライトアップ木島櫻谷 III」展 2026年4月25日～7月5日

貸出内容

剣の舞、白兔、鹿の母子、菜園に猫、春村帰牧、雁来紅に猫、孔雀、厩、
春山行路、積翠帰樵、櫻谷使用の絵の具一式、
天高く山粧う(寄託品) 望郷(寄託品)



泉屋博古館東京 SEN-OKU
HAKUKOKAN
MUSEUM TOKYO

企画展 ライトアップ木島櫻谷Ⅲ

— おうこくの色をさがしに 併設四季連作屏風



2026.4.25 (sat) - 7.5 (sun)

SPOTLIGHT ON KONOSHIMA OKOKU III

In Search of Color in Okoku

Accompanied by the Series Folding Screens of the Four Seasons

図録併録「公益財団法人助成による文化財修復成果—文化財よ、永遠に2026」

3. 櫻谷文庫の随時公開1. (独自)

京都市文化財マネージャー育成講座、立命館大学文学部京フィールドワーク講義、立命館大学アトリサーチセンター、京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科建築造形学部門演習など教育・研究への協力、併せて京都市 MICE 推進事務局に連携し、映画、テレビドラマロケに協力する。

公益収入 30,000 円

(内訳) 大学講義演習関係 10,000 円 文化財マネージャー育成講座 10,000 円 他映像制作協力関係 10,000 円

4. 櫻谷文庫の随時公開2. (独自)

随時公開については、グループ、団体等との時間調整の上実施する。

クラブツーリズム東京 11/1(日) 11/2(月) 11/3(祝・火) 11/4(水)

来訪予定 240 名

公益収入 129,600 円

5. 京都モダン建築祭への参加

パスポート公開 2026年 11月7日(土)、8日(日)(未確定)



利用料 30,000 円

3. 櫻谷文庫収蔵品の調査・整理デジタルデータベース化（共同）

2010年から開始した収蔵品の調査は、櫻谷作品類、軸類、書籍の一部を2010年2011年に実施した。2012年から写生帖600冊余、スケッチブック200冊余の全ページの調査は2018年に完了し2023年には一部について写生帖デジタルデータベースが公開された。2019年から書簡類の調査、スキャンを開始した。概ね完了。

泉屋博古館実方葉子学芸部長、櫻谷文庫業務執行理事門田節の2名で実施する。

(ア) マクリ、下絵類

(イ) 書簡等 数千点以上の書簡類等の整理、調査、スキャンを継続する。

6. 収蔵物、建築物の修復保全等（独自）

(ア) 洋館、和館、画室の「蟻害」関連 緊急補修工事

京都市補助金収入 959,000 円

工事関係支払い 1,171,500 円

内訳（古材文化の会設計室（設計・監理）支払い 297,000 円、上岡工務店（施工）支払い 874,500 円）

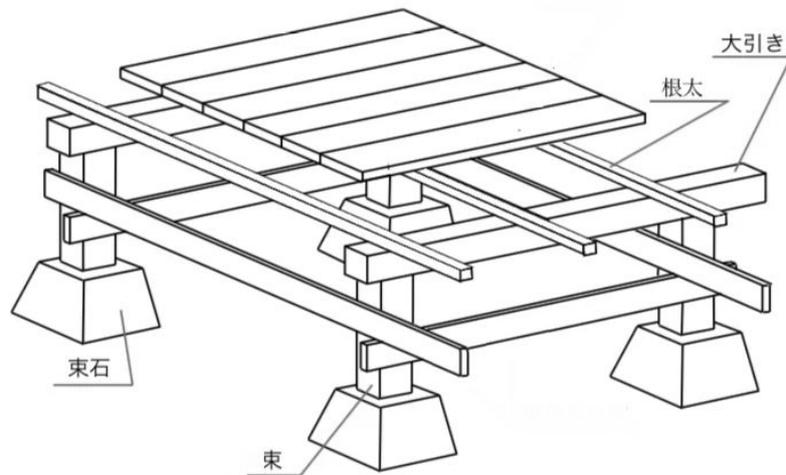
工事内容

(ア) 画室 玄関敷台取替工事（シロアリ部分処理を含む）

(イ) 画室 玄関取次の間 「根太材」補強工事（シロアリ部分処理を含む）

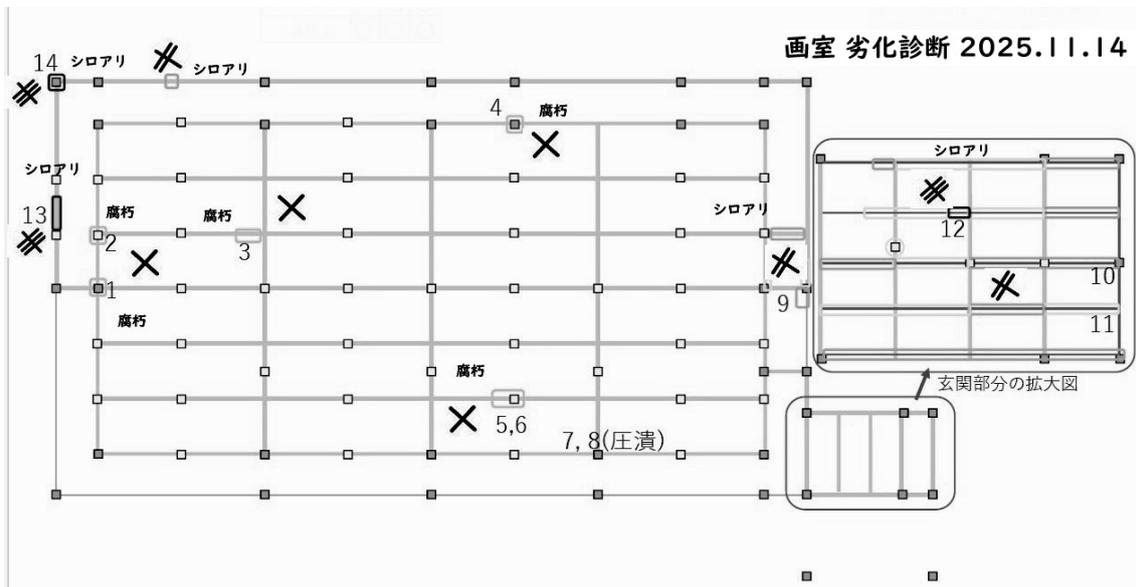
(ウ) 和館 「大引」補強工事（シロアリ部分処理を含む）

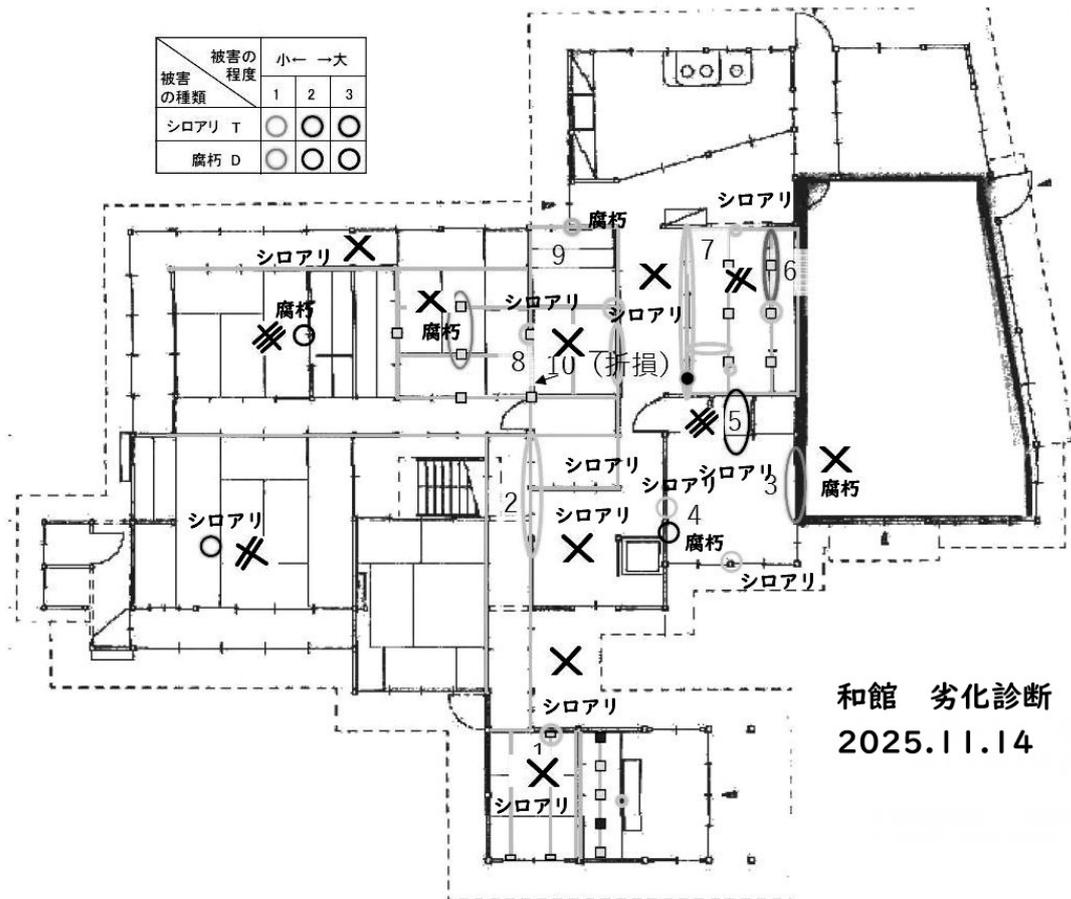
(エ) 洋館 「束材」補強工事（シロアリ部分処理を含む）



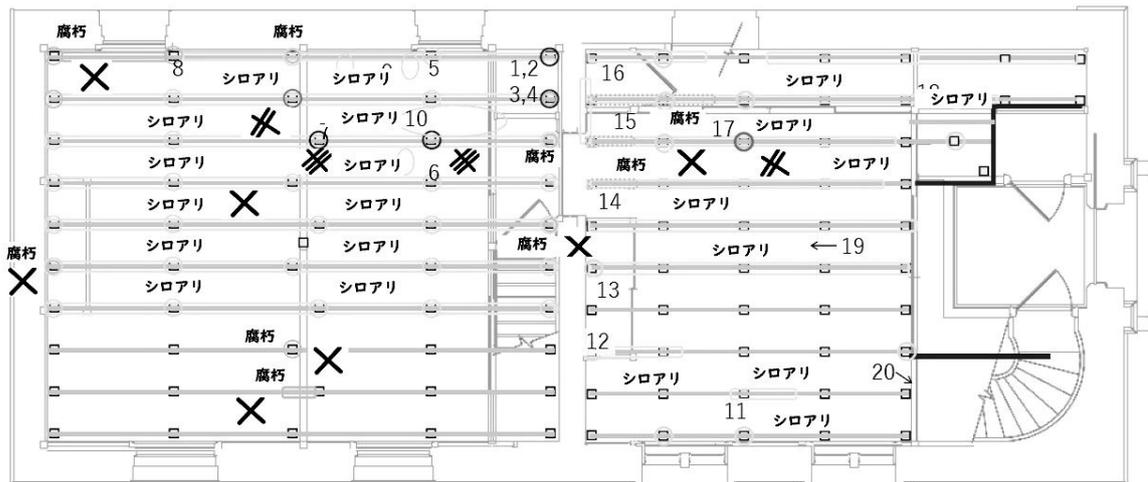
藤井義久先生（京都大学名誉教授 公益社団法人日本木材保存協会会長 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所客員研究員）の櫻谷文庫の蟻害調査（2025年9月26日、11月14日）の結果に基づき緊急に補修工事を実施する。

緊急修理の前提となった、調査結果は以下の通り。





洋館 劣化診断 2025. 11. 14



- (イ) 収蔵物、和館、洋館、画室の随時修理
- (ウ) 和館、洋館、画室の機械警備および消火設備点検



京都市補助金収入 40,000 円

セコム支払い 290,000 円

内訳 (140,000 円 (機械警備)、150,000 円 (自動火災報知機設備点検))

7. 地域、美術系、学術教育、メディア連携と櫻谷文庫情報の拡散 (独自)

等持院地域の観光スポットとの連携、衣笠地区の堂本印象美術館他美術系法人、地域の北区役所地域力推進室まちづくり推進担当、立命館大学、等持院、真如寺、平野の家わざ永々棟他との連携、京都への来訪者の多い首都圏でのPR強化のため京都市東京事務所、京福電気鉄道、JR西日本京都交流推進委員会、JR東海京都・奈良・近江文化情報事務局、京都市観光協会(京都駅観光総合案内所を含む)、京都新聞、KBS京都、NHK他との連携、情報提供を強化する。既存メディアだけでなくFacebook、X(旧Twitter)等の活用、継続的情報発信による情報拡散を図る。本年は京都市北区制70周年となるため関連事業に協力する。

8. 所在不明の櫻谷作品の所在調査

所在が不明の「うまや」、「港頭の夕」、「孟宗藪」、「松籟」、「獅子(えもの)」について所在調査を継続する。

9. 2027年 木島櫻谷生誕150年展 準備協力

櫻谷生誕150年展 泉屋博古館東京

2027年6月5日(土)~8月1日(日)

東京

2027

夏

6 June 2027							7 July 2027							8 August 2027						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	29	30	31				

櫻谷生誕150年展 京都市美術館・泉屋博古館本館

京都市美術館 2027年10月2日(土)~12月12日(日)
 泉屋博古館(京都) 2027年10月26日(火)~12月12日(日)

京都

2027

秋

12月12日(日) 最終日

10 October 2027							11 November 2027							12 December 2027										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
					1	2					1	2	3	4	5	6					1	2	3	4
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11				
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18				
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25				
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				26	27	28	29	30	31						
31																								



10. 木島櫻谷の墳墓の維持管理を実施する

収益事業等

画家入佐美南子氏（嵯峨美術大学名誉教授 油絵 二科会理事）の主宰する絵画教室に画室をアトリエとして、また地域在住者を主な対象とする整美体操教室（講師：井上敦子氏）に旧画室を教室として提供する。その他の事業として学校法人ヴィアートル学園との連携による教育支援活動を行う。洋画家浜哲郎氏に制作室として提供していた和館の一部について、教育、地域、美術芸術関係の活用を検討する。